

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（交通施設：町道別海宮舞町北環状西線改良舗装）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	別海町別海宮舞町						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線は、別海町別海宮舞町地域住民が生活道路として使用しているが、未舗装道路であり路面破損、砂塵発生等が著しく周辺住民の生活環境に影響を与えていることから道路整備を要する状況にある。</p> <p>本事業の実施により、路面破損、砂塵発生等を防止し、周辺住民の生活環境を改善する。</p> <p>また、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりにも寄与する。</p>						
補助事業の内容	改良舗装工事 L=110.06m W=4.0m 用地確定測量 一式						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：令和3年度～令和5年度</p> <p>本年度：令和5年7月～令和5年11月</p>						
事業費及び交付金額		令和4年度 まで	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円 3,528,900	円 23,115,900	円	円	円	円 26,644,800
	交付金額	円 2,935,000	円 22,000,000	円	円	円	円 24,935,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本路線を改良舗装したことで路面破損、砂塵発生等の防止が図られたことにより、通行者の安全性が確保されるなど生活環境が改善されたことに加え、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりに寄与することができた。</p> <p>加えて、地域住民への聞き取りからも路面破損、砂塵発生が防止されたことを確認している。</p> <p>また、当該路線整備が調整交付金による事業である旨の地域住民への周知を以下の方法によって図った。</p> <p>①工事期間中の工事看板に事業名を表示 ②竣功杭に事業名を表示 ③広報誌への掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民からの要望や要請、市街地域の道路や交通状態を鑑み事業の効果的な推進を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（交通施設：町道別海川上町南1条通線改良舗装）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	別海町別海川上町						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線は、別海町別海川上町地域住民が生活道路として使用しているが、未舗装道路であり路面破損、砂塵発生等が著しく周辺住民の生活環境に影響を与えていることから道路整備を要する状況にある。</p> <p>本事業の実施により、路面破損、砂塵発生等を防止し、周辺住民の生活環境を改善する。</p> <p>また、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりにも寄与する。</p>						
補助事業の内容	改良舗装工事 L=160.93m W=4.0m 用地確定測量 一式						
補助事業の始期及び終期	<p>全体：令和3年度～令和5年度</p> <p>本年度：令和5年7月～令和5年11月</p>						
事業費及び交付金額		令和4年度 まで	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	4,886,100	31,888,400				36,774,500
		4,065,000	30,000,000				34,065,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本路線を改良舗装したことで路面破損、砂塵発生等の防止が図られたことにより、通行者の安全性が確保されるなど生活環境が改善されたことに加え、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりに寄与することができた。</p> <p>加えて、地域住民への聞き取りからも路面破損、砂塵発生が防止されたことを確認している。</p> <p>また、当該路線整備が調整交付金による事業である旨の地域住民への周知を以下の方法によって図った。</p> <p>①工事期間中の工事看板に事業名を表示 ②竣功杭に事業名を表示 ③広報誌への掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民からの要望や要請、市街地域の道路や交通状態を鑑み事業の効果的な推進を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（交通施設：町道別海商工団地中央通線改良舗装）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	別海町別海寿町						
補助事業の成果の目標	<p>当該路線は、別海町別海寿町地域住民が生活道路として利用している路線であり、昭和56～57年度に臨時町道整備事業により改良舗装工事が行われたが、当時の設計路盤が薄いため凍上の影響により舗装のひび割れや、大きなわだち掘れが生じており、車両の通行や生徒、児童の通学に支障が生じている状態にある。</p> <p>本事業の実施により、路面破損等を修繕し、また、歩行者の安全確保や利便性の向上に寄与し周辺住民の生活環境の改善を図る。</p> <p>また、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりにも寄与する。</p>						
補助事業の内容	改良舗装工事 L=200.33m W=5.5m 用地確定測量 一式						
補助事業の始期及び終期	全 体：令和4年度～令和6年度 本年度：令和5年7月～令和5年12月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	6,767,400	54,641,800	43,230,000			104,639,200
	交付金額	6,432,000	51,000,000	38,900,000			96,332,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本路線を改良舗装したことで路面破損、砂塵や水たまり発生の防止が図られたことにより、通行者の安全性が確保されるなど生活環境が改善されたことに加え、緊急車両のスムーズな通行が可能となり、災害に強い町づくりに寄与することができた。</p> <p>加えて、地域住民への聞き取りからも路面破損、砂塵発生が防止されたことを確認している。</p> <p>また、当該路線整備が調整交付金による事業である旨の地域住民への周知を以下の方法によって図った。</p> <p>①工事期間中の工事看板に事業名を表示 ②竣功杭に事業名を表示 ③広報誌への掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後とも地域住民からの要望や要請、市街地域の道路や交通状態を鑑み事業の効果的な推進を図る。						
事業の評価に際しての第三者機関の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（消防に関する施設：消防車両更新）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	根室北部消防事務組合 別海消防署（別海町別海新栄町2番地3）						
補助事業の成果の目標	<p>本町が所有する消防車両のうち、広報車は、平成8年に整備され、26年が経過し経年による劣化が顕著となっており、火災予防広報や火災原因調査業務を行う際に支障を来す状況にある。</p> <p>本事業で車両を更新整備することで、各種災害による甚大な被害を防ぐことを目的とした地域防災における消防署の機能強化を図り、町民の生命、身体、財産の保護に迅速な対応を図る。</p>						
補助事業の内容	広報車 1台						
補助事業の始期及び終期	令和5年8月～令和6年3月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		16,500,000				16,500,000
			15,700,000				15,700,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>当該車両が更新されたことにより、経年劣化等に起因した各種業務に対する支障への懸念が解消された。</p> <p>消防隊員への聞き取りでは「旧広報車は大型の照明装置がなかったため、夜間の火災調査時は携帯式の投光器等を用いて調査を実施していたが、市街地以外が広大な別海町では街灯がない場所がほとんどであるため、照度不足から夜間の調査活動で苦勞することが多く、また、隊員の安全管理にも不安を感じることもあったが、大型の照明装置が当該車両に設置されたことで照度が大きく向上したことで上記の問題の改善が期待できる」、「旧広報車はシートベルトが前席以外腰ベルトのみであったが、新広報車は全席が3点式ベルトになったことで走行時における乗員の安全性が向上した。また、バックモニタ、自動ブレーキ等運転補助装備が充実したことから運転時の安全性も併せて向上が図られた。」との評価が得られた。</p> <p>以上のことから、本事業の実施により、各種災害による甚大な被害を防ぐことを目的とした地域防災における消防署の機能強化が図られ、町民の生命、身体、財産の保護に迅速な対応を図ることに寄与した。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨を以下の方法によって地域住民に周知を行った。</p> <p>(1) 車両側面部への事業名貼付 (2) 町ホームページへの掲載 (3) 町広報誌への掲載</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（社会福祉施設：西春別ケアセンター改修）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	西春別ケアセンター（別海町西春別駅前曙町9番地3）						
補助事業の成果の目標	<p>西春別ケアセンターは平成12年3月の開設から23年が経過し、施設の維持保全上必要な修繕時期を迎えている状況となっている。</p> <p>令和元年の特殊建築物等定期調査にて、外壁ひび割れの劣化進行の指摘があり、また屋上防水は令和5年度に計画していたが、一部補修が必要となり令和2年度に実施している。この他にも改修が必要な箇所が散々し、施設の利用者及び入居者が安全安心に施設を利用する事への影響が懸念される。</p> <p>また、厨房に設置されている冷凍冷蔵庫及びガス赤外線グリラーは、建設当時の設置から23年が経過しており、平成23年度に購入した恒温高湿庫は12年が経過している。冷凍冷蔵庫及び恒温高湿庫は老朽化によりガス漏れやモーター異音、基盤劣化等によって修繕を繰り返しており、ガス赤外線グリラーにおいてもグリラー内の焦げ付きがひどく、またレバーが緩くなるなど、それぞれ稼働停止の恐れがある。施設内のデイサービスでは、食事の提供も行っており、食中毒予防の観点及び部品の供給が既に終了していることなどから更新が必要である。</p> <p>このことから、本事業により施設の安全性を高め、入居者及び利用者の生活の安定と充実を図る。</p>						
補助事業の内容	内外部改修工事 一式 恒温高湿庫 1台、冷凍冷蔵庫 1台、ガス赤外線グリラー 1台						
補助事業の始期及び終期	令和5年7月～令和5年12月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		108,000,000				108,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の完了後、当該改修工事等について施設職員及び入居者等に聞き取りを行った結果は以下のとおり。</p> <p>○西春別ケアセンター内外部改修について ホール冷暖房設備を改修したことで、これまで冬期間は、デイホール利用開始時間の1時間ほど前から床暖房を入れていたが、床暖房の使用がなくても快適な温度が保たれ、床暖房では感じられなかったホールの空気の暖かさが感じられると利用者及び職員からの声があった。</p> <p>また、生活ハウスの浴室の改修については、お湯に入る際の段差が軽減され、入居者が入りやすくなったと大変喜んでいる。</p> <p>今回の改修により、施設全体の照明をLED化したことでエネルギー使用量を大幅に削減することができ、ランニングコストの削減も期待することができる。</p> <p>○西春別ケアセンター厨房機器購入について ガス式オープンの更新によって、火力が強くなり、予熱や焼時間が短時間で完了し、かつ煙が気にならず、焼き加減を見ながら調理できることから、大変使いやすくと調理員から聞いている。</p> <p>また、業務用冷凍冷蔵庫及び恒温高湿庫の更新によって、ガス漏れや基盤整備不能により冷凍機能が一時使えない等による食材の衛生面の心配がなくなり、安心して調理を行うことができ、安全な食事を利用者及び入居者へ提供することができるようになった。</p> <p>以上のことから、本事業の実施により「西春別ケアセンター」の利用者及び入居者が安全に施設を利用することができ、生活の安定と充実が図られたと評価することができる。</p> <p>また、当該整備事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨、町ホームページ、工事期間中の工事看板、施設内及び町広報誌に掲示し、地域住民への周知を図った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢臼別演習場関連公共用施設（スポーツ又はレクリエーションに関する施設：西春別ファミリースポーツハウス外部等改修）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	西春別ファミリースポーツハウス（別海町西春別99番地3）						
補助事業の成果の目標	西春別ファミリースポーツハウスは開設から32年が経過し、施設の経年劣化と併せ、特に屋根の天窓付近からの雨漏りが酷く、人工芝の劣化や各スポーツ競技にも影響が出ている。 これらを踏まえ、当該施設の改修を行い、施設環境を整備することで、施設利用者の安心と安全の向上及び町民の心身の健全な発達とスポーツの振興を図る。						
補助事業の内容	外部外改修工事 一式 照明設備LED化改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年7月～令和5年12月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		43,626,000				43,626,000
			42,000,000				42,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の完了後、当該改修工事について利用者及び施設管理職員に聞き取りを行った結果は以下のとおり。</p> <p>○外部外改修工事一式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・天窓からの雨漏りや外部建具の歪みによる雨風及び雪が入らなくなり、利用者が快適にスポーツに取り組める環境が整った。 ・玄関アプローチの改修により安全に施設を利用できることとなり、また、サイディングの張替えによりきれいな外観となった。 <p>○照明設備LED化改修工事一式について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設全体の照明をLED化したことでエネルギー使用量を大幅に削減することができる。 ・ランニングコストの削減も期待することができる。 ・LED化したことにより、室内全体が明るくなり、快適に施設を利用できるようになった。 <p>以上のことから、本事業の実施により「西春別ファミリースポーツハウス」の利用者が安全安心に施設を利用することができ、心身の健全な発達とスポーツの振興が図られたと評価することができる。</p> <p>また、当該整備事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨町ホームページ、広報誌、工事期間中の工事看板及び施設内に掲示し、地域住民に周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（社会福祉施設：老人保健施設改修等）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	別海町老人保健施設すこやか（別海町別海西本町103番地の3）						
補助事業の成果の目標	<p>別海町老人保健施設すこやかは開設から25年が経過し、施設設備や備品など全般的な老朽化が大きな課題となっている。</p> <p>特に電気設備については、定期的点検の都度、各機器の更新について指摘を受けている状況となっており、高圧受変電設備に不具合が発生した場合、施設利用者等への影響のみならず、施設周辺地域での停電発生に繋がる影響が懸念されている。</p> <p>また、施設開設時に導入した電動ベッドは、修理を重ねながら使用しているものの、故障する頻度も高く、不動の物も使用し対応している状況となっている。</p> <p>電動ベッドは施設を利用する高齢者に欠かせない物品であり、背上げや高さ調整等も自立支援につながる重要な機能であることから、入所者の施設生活における安全性の確保と身体機能の維持、向上を図るとともに、職員の業務負担軽減も図るため更新が必要となっている。</p> <p>このことから、本事業により施設の安全性を高め、入居者及び利用者の生活の安定と充実を図る。</p>						
補助事業の内容	高圧受変電設備改修工事 一式 電動ベッド 21台						
補助事業の始期及び終期	令和5年8月～令和6年2月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額		19,872,600				19,872,600
			19,000,000				19,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の完了後、施設職員及び入居者等に聞き取りを行った結果は以下のとおり。</p> <p>○高圧受変電設備等改修工事について 設備改修により、施設における電気利用に関する安全性が向上した。 また、施設での事故等発生時に適切な対応ができる見込みがたち、周辺地域での停電事故の心配が無くなったとの声が聞かれた。</p> <p>○電動ベッド購入について ・「端座位」や「離床」などの動作に合わせた呼び出し設定ができるので、利用者の状態や特性に合わせた適切なタイミングで対応ができる。 ・臥床動作で体重を測定できるので、利用者負担を軽減し健康観察を行うことができる。また、随時の測定で身体の浮腫など体調変化を数値として確認しやすくなった。 ・利用者からも「軋み音が気にならなくなった」との声が上がっている。</p> <p>以上のことから、本事業の実施により老人保健施設の入居者及び利用者等が安全安心に施設を利用することができ、生活の安定と充実が図られたと評価することができる。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨を以下の方法によって地域住民に周知を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 町ホームページへの掲載 (2) 広報誌への掲載 (3) 工事期間中の工事看板に記載 (4) 施設に事業名を表示 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（社会福祉施設：上西春別保育園改修）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	上西春別保育園（別海町西春別駅前曙町9番地の68）						
補助事業の成果の目標	<p>認定こども園上西春別保育園は開設から28年が経過し、施設の維持保全上必要な修繕時期を迎えている状況である。施設内部のフローリングについては経年劣化によりささくれ立ちができてきている状況であり、利用者が安全安心に施設を利用する事への影響が懸念される。また、木製フェンスについても老朽化が顕著であり、腐食及び損壊は年々進行している状況にある。</p> <p>このことから、当該保育園の内外部改修を行うことにより、施設の安全性を高め、利用者の生活の安定と充実を図る。</p>						
補助事業の内容	内外部改修工事 一式						
補助事業の始期及び終期	令和5年10月～令和6年2月						
事業費及び交付金額		令和4年度	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円 28,798,000	円	円	円	円 28,798,000
	交付金額		円 27,300,000				円 27,300,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の完了後、当該改修工事について利用者及び施設管理職員に聞き取りを行った結果は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室等のフローリング床は、経年劣化によりささくれや一部フローリングの欠損等が見られたが、改修工事後は園児が安全安心に過ごせる環境となった。 ・乳児室壁クロスは、一部剥がれが見られたが、クロス張替によりきれいな室内となった。 ・園外部のテラスステップは破損し、園児が登らないようにブルーシートで覆っていたが、撤去により安全な環境となった。 ・園外の木製フェンスは、劣化により一部破損や欠損していたが、改修によりきれいな外観となった。 ・施設全体の照明をLED化したことでエネルギー使用量を大幅に削減することができ、ランニングコストの削減も期待することができる。また、室内全体が明るくなり、快適に施設を利用できるようになった。 <p>以上のことから、本事業の実施により「上西春別保育園」の利用者が安全安心に施設を利用することができ、保育環境の充実が図られたと評価することができる。</p> <p>また、当該整備事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨町ホームページ、広報誌、工事期間中の工事看板及び施設内に掲示し、地域住民に周知を行った。</p>						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連特定事業（医療に関する事業：子ども医療費助成事業）							
補助事業者名	別海町長							
実施場所	別海町							
補助事業の成果の目標	<p>本町では、子どもの疾病の早期治療を促進し健康で健全な育成を推進するとともに、子育て世帯の経済的負担を緩和するため、平成28年10月から中学生以下の医療費を無償化している。</p> <p>今後も、継続して事業を実施するため、基金を設置し、安定的な事業運営をすることで前述の目的を達成し、以て子育て支援に寄与する。</p>							
補助事業の内容	子ども医療費の自己負担分を助成する。							
補助事業の始期及び終期	平成29年度～令和5年度							
事業費及び交付金額		令和4年度 まで	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計	
	事業費	円 216,012,938	円 40,447,575	円	円	円	円 256,460,513	
	基金 造成 額	交付金	206,000,000					206,000,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	23,256	642				23,898
		計	206,023,256	642				206,023,898
		基金処分量	174,000,000	32,023,898				206,023,898
	基金残額	32,023,256	0				/	
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金事業を活用することにより、子ども医療費助成事業の継続的かつ安定的な事業運営が図られている。</p> <p>また、受給世帯への聞き取りを行ったところ、以下の評価が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費の負担がないことで気兼ねなく病院や歯科医院を受診できる。家計も助かっている。 ・大人と違い多少のことは様子見とはいかないため、心配なことがあればすぐに受診させるので医療費がかからないのはとても助かっている。 ・保育園で集団生活をしていると風邪症状や発熱がよくあり、受診が必要になる場面がありますが、医療費の心配をしなくていいのでとても助かっています。 <p>子育て世帯の経済的負担が緩和されたことで、疾病等の早期受診及び治療が促進され、子どもの健康で健全な育成につながっている。そのため、本基金事業は本町の子育て支援に寄与していると評価することができる。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨を以下の方法によって地域住民に周知を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 町広報誌への掲載 (2) 町ホームページへの掲載 (3) 受給者配布物への記載 							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連公共用施設（教育文化施設：学校図書購入）整備事業						
補助事業者名	別海町長						
実施場所	別海町立上風連小学校（野付郡別海町上風連181番地4）外15校						
補助事業の成果の目標	<p>学校図書館は児童生徒の豊かな心を育む読書活動の場であるとともに、主体的な学習活動を支援する機能も有している。しかしながら、本町では図書の冊数が文部科学省の定める標準冊数に達していない小中学校が多く、また、経年による情報の陳腐化等に伴う図書の廃棄・更新など、その質を向上させる取組も必要な状況にある。</p> <p>本事業で計画的に町内小中学校の学校図書を整備することにより、児童生徒の学習環境の向上を図る。</p>						
補助事業の内容	学校図書購入 一式						
補助事業の始期及び終期	<p>全 体：令和3年度～令和6年度</p> <p>本年度：令和5年10月～令和6年3月</p>						
事業費及び交付金額		令和4年度 まで	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 予定	計
	事業費	円	円	円	円	円	円
	交付金額	10,309,439	5,148,116	5,210,000			20,667,555
		9,562,000	4,764,000	4,600,000			18,926,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本事業の完了後、当該図書の整備について教員に聞き取りを行った結果は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定の学習に際して、積極的に活用する姿が見られた。 ・総合的な学習の時間、各教科の調べ物の際に資料として活用されていた。 ・図鑑等の更新を行い、調べもの学習等において積極的な活用が図られた。 ・ビブリオバトルで紹介のあった本をより多くの学校が購入し、学校間での読書交流が進んだ。 <p>以上のことから、本事業の実施により児童生徒の学習環境の向上が図られた。また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金によって実施されている旨を、以下の方法によって地域住民に周知を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 町ホームページへの掲載 (2) 広報誌への掲載 (3) 学校図書館に事業名を掲示 (4) 図書本体に事業名を掲示 						
事業の改善措置及び今後の対応	今後も児童生徒の学習環境の向上を図るため、計画的に事業を実施する。						
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無						

事業評価書

補助事業名	矢白別演習場関連特定事業（医療に関する事業：地域医療体制維持確保事業）							
補助事業者名	別海町長							
実施場所	別海町							
補助事業の成果の目標	<p>町立別海病院は町内唯一の病院として、町民のいのちと健康を守るという重要な役割を果たしており、同病院における医師の確保は地域の医療体制の維持及び確保に必要不可欠である。</p> <p>日本最東端の地域に位置する本町においては、医師の確保が大きな課題となっている。本町では地域医療体制の縮小を防ぐべく、医師が退職する度に、新たな医師の招へいに苦心してきたところである。</p> <p>今後とも、安定的に医師を確保するため、本事業を継続し、長期にわたる地域医療体制の確保を図る。</p>							
補助事業の内容	町民ニーズの高い診療科の担任医師給与の支給に充てる。							
補助事業の始期及び終期	令和3年度～令和10年度							
事業費及び交付金額		令和4年度 まで	令和5年度	令和6年度 予定	令和7年度 予定	令和8年度 以降予定	計	
	事業費	円 216,597,986	円 212,448,872	円 234,963,463	円 234,963,463	円 704,890,389	円 1,603,864,173	
	基金 造成 額	交付金	300,000,000	64,000,000	84,000,000	84,000,000	168,000,000	700,000,000
		市町村費等						0
		その他						0
		運用益	3,060	3,989	3,298	2,960	6,966	20,273
		計	300,003,060	64,003,989	84,003,298	84,002,960	168,006,966	700,020,273
	基金処分額	100,000,000	100,000,000	100,000,000	100,000,000	300,020,273	700,020,273	
基金残額	200,003,060	164,007,049	148,010,347	132,013,307	0	/		
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>本基金事業を活用することにより、本町では安定的に医師を確保することができおり、また、病院の利用者に聞き取りを行ったところ、以下の評価が得られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもがよく熱を出すので、すぐ受診できる環境でとても安心である。 ・仕事をしていて、なかなか休みを取れないので、産婦人科があつてありがたい。 ・内科に雇っているが、日中は仕事の都合でなかなか通院できないので、週に一度夜間診療があるのでありがたい。 <p>このように、本基金事業は本町の安定的な医師確保による地域医療体制の維持及び確保に寄与していると評価することができる。</p> <p>また、本事業が特定防衛施設周辺整備調整交付金事業である旨を以下の方法によって地域住民に周知を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 町広報誌への掲載 (2) 町及び病院ホームページへの掲載 							
事業の改善措置及び今後の対応	今後も適切な管理を行いながら計画的に事業を実施する。							
事業の評価に際しての第三者機関の活用の有無	無							